



平成 21 年 5 月号

THANKS 130 おかげさまで130周年



概況

最近の県内経済は、個人消費、生産活動とも厳しい状態が続いている。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は、8ヶ月連続のマイナスとなった。自動車販売は、登録車、届出車ともにマイナスとなり、全体では19ヶ月連続のマイナスとなった。

住宅建設は、持家が減少したものの、貸家が大幅に増加し、4ヶ月ぶりの大幅プラスとなった。公共投資は、国が増加したものの、独立行政法人等、県、市町村が減少し、2ヶ月連続で大幅マイナスとなった。

生産関連の動きをみると、一般機械、電子部品・デバイス、電気機械などは国内外需要の低迷から大幅な減産が続いており、鉄鋼はフェロニッケルが低水準の生産となっている。一次産業関連では、20年産県産米「つがるロマン」の卸売価格が前月比ほぼ横バイとなった。20年県産リンゴ販売は、消費地市場価格が前年を下回っているものの、上昇の動きがみられる。八戸港水揚げは、数量、金額とも前年同月を大幅に上回った。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比横バイの0.28倍となり、2ヶ月連続で全国最下位となった。

個人消費

3月の**大型小売店販売額**は、前年同月比6.3%減(速報ベース、店舗調整後)と8ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同9.5%減と30ヶ月連続のマイナス、スーパーは同4.6%減と3ヶ月連続のマイナスとなった。

3月の**自動車販売台数**は、登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比20.5%減と19ヶ月連続のマイナスとなった。内訳別にみると、登録車は、普通乗用車、小型乗用車、貨物車がそれぞれ減少し、合計では同25.1%減となった。また、届出車は、乗用車、貨物車がともに減少し、合計では同15.9%減となった。

住宅投資

3月の**新設住宅着工戸数**は、前年同月比59.2%増の495戸と4ヶ月ぶりの大幅プラスとなった。持家が同7.8%減となったものの、貸家が同177.3%増と大幅に増加した。

公共投資

3月の**公共工事請負額**は、前年同月比35.2%減の111億9,900万円と2ヶ月連続で大幅マイナスとなった。国が同108.0%増と大幅に増加したものの、独立行政法人等は同87.3%減、県は同23.3%増、市町村は同41.1%減とそれぞれ大幅に落ち込んだ。

一次産業

20年産**県産米**「つがるロマン」の卸売価格(農林水産省調査、21年3月分)は前月比0.1%低下、前年同月比6.9%上昇の3,368円/10kgとなった。3月の**20年県産リンゴ販売**は、県外出荷量が前年同月比13.8%増、県外市場販売額は同3.1%減となった。消費地市場価格は同15.7%低下したが、前月比13円高となり上昇の動きがみられる。3月の**八戸港水揚げ**は、船凍アカイカの水揚げが大幅に増加し、数量が前年同月比27.9%増、金額が同61.2%増と、数量、金額とも大幅に増加した。

生産活動

2月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、前月比5.2%低下の81.8となった。原指数をみると、全体では前年同月比33.8%低下の75.4となった。一般機械、電子部品・デバイス、電気機械などは国内外需要の低迷から大幅な減産が続いており、鉄鋼はフェロニッケルが低水準の生産となっている。食料品は飲料の原料処理量が前年を上回っているものの、水産加工は幾分伸び悩んでいる。

一 次 産 業

米

「つがるロマン」の卸売価格、前月比0.1%低下の3,368円/kg

農林水産省が発表した20年産米穀の卸売価格調査結果の概要(21年3月分、全国平均)によると、公表21銘柄のうち県産米「つがるロマン」の卸売価格は、前月比で0.1%低下とほぼ横バイ、前年同月比では6.9%上昇の3,368円/10kgとなった。20年産米の卸売価格は、前月と比較すると、値下がりしている銘柄が多くなっており、16銘柄が低下、1銘柄が横バイとなり、上昇したのは4銘柄にとどまった。なお、前年同月比では21銘柄全てが上昇した。21銘柄中、価格が最も高かったのは「新潟コシヒカリ(魚沼)」の5,753円/10kg、一方最も低かったのは「北海道ななつぼし」の3,277円/10kgであった。

平成20年産米(県産米及び東北・北海道主要銘柄)の卸売価格の推移

(単位:円/10kg、包装・消費税込み)

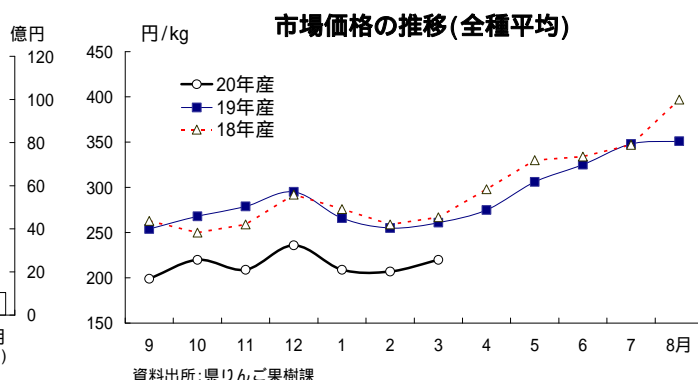
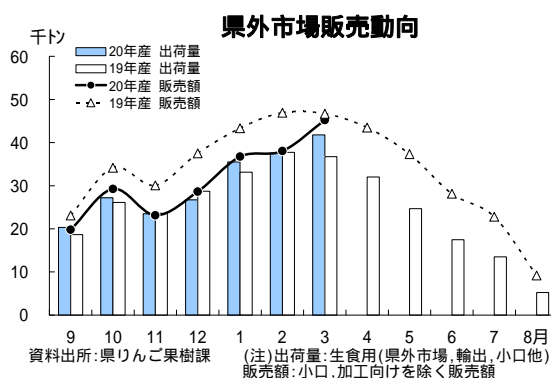
産地	銘柄	20年 10月	20年 11月	20年 12月	21年 1月	21年 2月	21年 3月	20年 3月	前月比 %	前年同月 比 %
青森	つがるロマン	3,339	3,348	3,399	3,372	3,372	3,368	3,150	0.1	6.9
秋田	あきたこまち	3,617	3,613	3,610	3,609	3,604	3,605	3,392	0.0	6.3
岩手	ひとめぼれ	3,603	3,582	3,574	3,560	3,561	3,557	3,342	0.1	6.4
宮城	ひとめぼれ	3,612	3,602	3,612	3,616	3,618	3,619	3,402	0.0	6.4
山形	はえぬき	3,487	3,484	3,500	3,481	3,481	3,477	3,245	0.1	7.1
福島	ひとめぼれ	3,469	3,492	3,513	3,512	3,520	3,505	3,284	0.4	6.7
新潟一般	コシヒカリ	4,165	4,176	4,155	4,146	4,144	4,143	4,066	0.0	1.9
北海道	きらら397	3,238	3,259	3,262	3,271	3,319	3,314	3,193	0.2	3.8

資料出所:農林水産省

りんご

県外市場価格、上昇の動き

20年県産りんご販売、3月の県外出荷量は前年同月比13.8%増の4万1,785トンとなった。これは前3ヶ年の3月平均出荷量を12.4%上回る水準である。価格面をみると、3月の産地価格は全種平均で前年同月比、前3ヶ年比較ともに29.9%低下の108円/kg、消費地市場価格は前年同月比15.7%、前3ヶ年比較で14.1%それぞれ低下の220円/kgとなった。消費地市場価格の品種別内訳をみると、「ふじ」が前年同月比16.1%低下の219円/kg、「王林」が同12.9%低下の203円/kgなどとなった。この結果、3月の県外市場販売額は同3.1%減の90億4,500万円となった。20年県産りんごは、県と関係団体が一体となった販売促進活動や需給調整対策により、引き合いが活発になっており、県外市場価格は前月比13円高と上昇の動きがみられる。

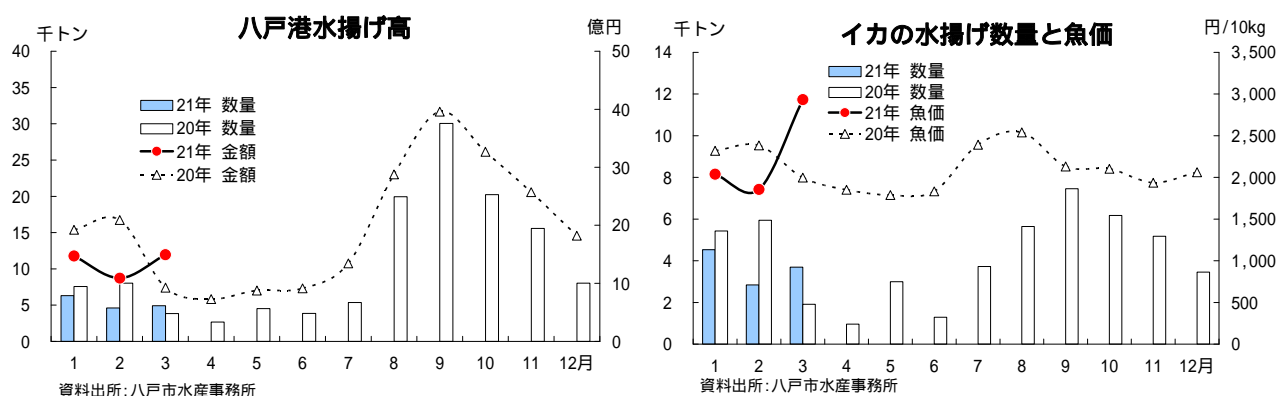


八戸港水揚げ

水揚げ数量、金額とも前年同月比大幅増

3月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比27.9%増の4,911トン、金額が同61.2%増の14億9,311万円と、数量、金額とも大幅に増加した。うち主力のイカ釣り漁は、数量が同93.1%増の3,694トン、金額が同183.5%増の10億8,297万円と、数量、金額とも大幅に増加した。水揚げのピークがずれ込み、3月15日まで漁期を延長した船凍アカイカは数量が同約5.6倍の3,392トン、金額が同約5.6倍の10億5,540万円と大幅に増加し、全体を押し上げた。イカの平均単価は、魚価の高い船凍アカイカが大部分を占めたことから同46.8%増の2,932円/10kgと大幅に上昇した。

機船底引き網漁はシケの日が多かったことから、数量が同38.5%減の1,061トン、金額は同22.2%減の3億4,065万円となった。



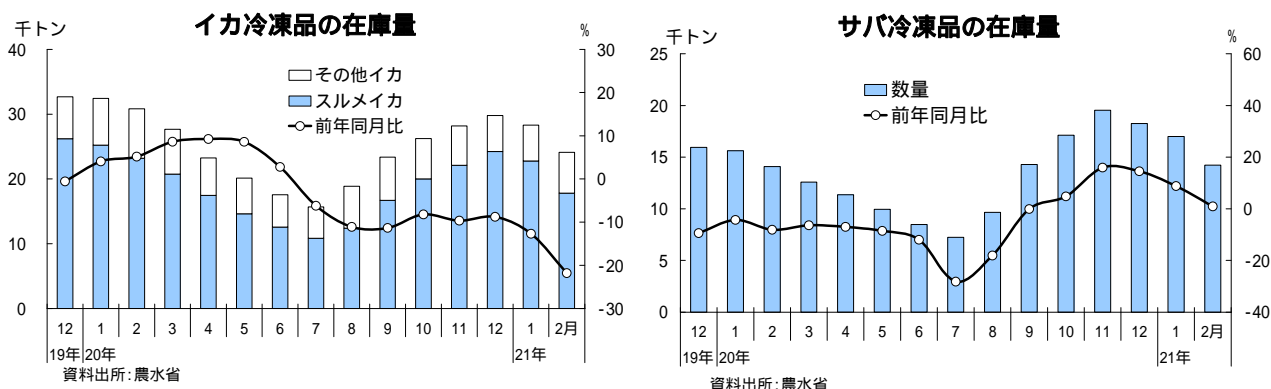
二次産業

水産加工

一夜干し、塩辛などイカ製品が順調な荷動き

2月の八戸地区イカ冷凍品在庫量は、前年同月比21.8%減の1万7,822トンと8ヶ月連続で前年同月を下回った。一方、サバ冷凍品在庫量は、同0.9%増の1万4,228トンと5ヶ月連続で前年同月を上回った。

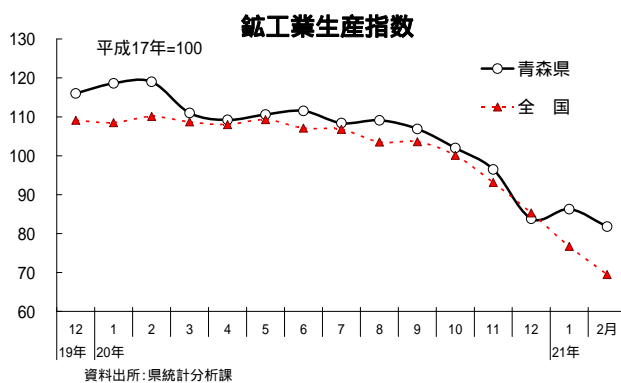
3月の加工品の動きをみると、イカ製品は、一夜干し、開きイカなどのスルメイカ加工品や塩辛などの珍味加工品が順調な荷動きとなった。また、ペルーイカ製品のイカステーキなどは、魚価が安定してきたこともあり、需要がピークとなる春の行楽シーズンに向け順調な操業となった。サバ製品は、国内産の強い引き合いが続いていることから、前沖サバのフィレー加工品やメサバが順調な荷動きとなった。



鉱工業生産

一般機械、電気機械などで大幅な減産続く

2月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は、前月比5.2%低下の81.8となった。主要6業種をみると、電気機械が同32.0%、電子部品・デバイスが同13.9%、一般機械が同10.1%、ウエートの高い食料品が同5.4%それぞれ低下した。一方、鉄鋼は同10.0%、パルプ・紙は同3.6%それぞれ上昇した。このほかでは、窯業・土石が同16.8%、化学が同16.4%それぞれ低下し、金属製品は8.4%上昇した。原指数でみると、全体では前年同月比33.8%低下の75.4となり、前月同様、主要6業種全てで低下した。一般機械、電気機械、電子部品・デバイスなどは一部で在庫調整の進捗がみられるものの、国内外需要の低迷から大幅な減産が続いている。鉄鋼はステンレスメーカーが大幅な減産体制にあることからフェロニッケルが低水準の生産となっている。食料品は飲料の原料処理量が前年を上回っているものの、水産加工は幾分伸び悩んでいる。



業種別生産指数(平成21年2月)

業種 ()内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原指数	
	平成17年 =100	前月比 (%)	平成17年 =100	前年同月比 (%)
鉱工業 (10000.0)	81.8	5.2	75.4	33.8
食料品 (2249.0)	87.3	5.4	73.3	12.1
一般機械 (1254.7)	83.7	10.1	81.4	50.9
電子部品・デバイス (1106.8)	58.0	13.9	53.7	50.1
鉄鋼 (1008.6)	55.9	10.0	52.5	27.4
パルプ・紙 (807.5)	95.6	3.6	88.0	11.3
電気機械 (550.4)	70.4	32.0	69.0	70.5

資料出所: 県統計分析課

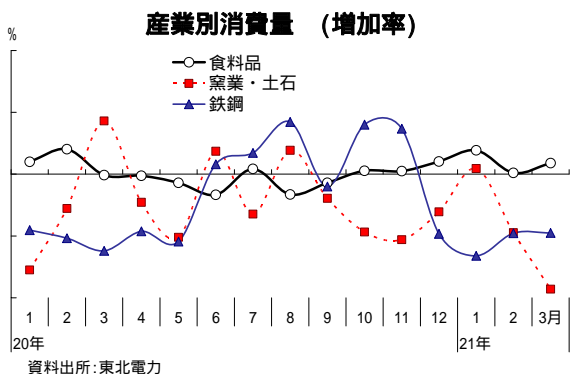
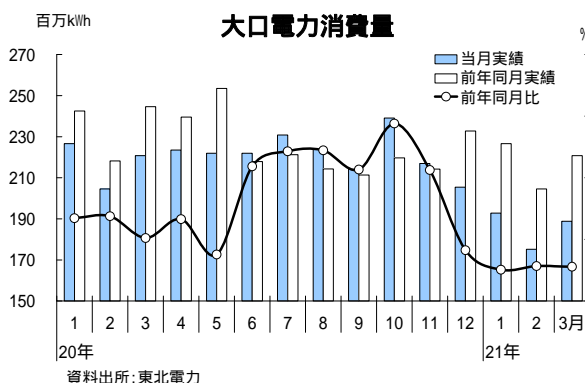
大口電力

製造業の大口電力消費量、4ヶ月連続マイナス

3月の県内大口電力消費量は、前年同月比14.4%減の1億8,884万kWhとなった。うち製造業は同19.1%減の1億3,052万kWhと4ヶ月連続のマイナスとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、食料品が同3.6%増となったものの、窯業・土石が同37.2%減と前年同月を大幅に下回ったほか、消費ウエートの高い鉄鋼は同19.0%減となった。このほかでは、機械が同23.8%減、繊維が同21.7%減、化学が同18.0%減、パルプ・紙が同15.2%減、非鉄金属が同11.4%減とそれぞれ前年同月を下回った。

県内の大口電力消費量をみると、窯業・土石、鉄鋼、機械などで減産の動きが強まっていることがうかがわれる。

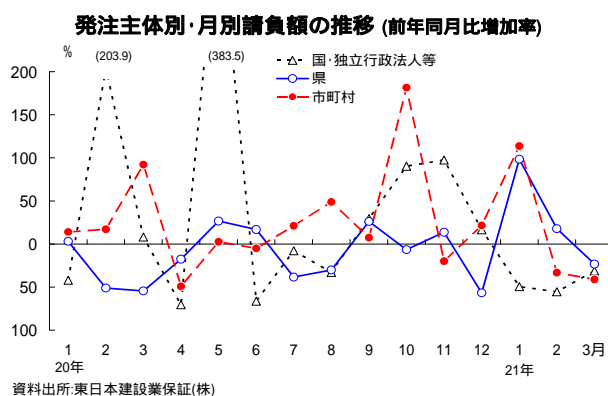
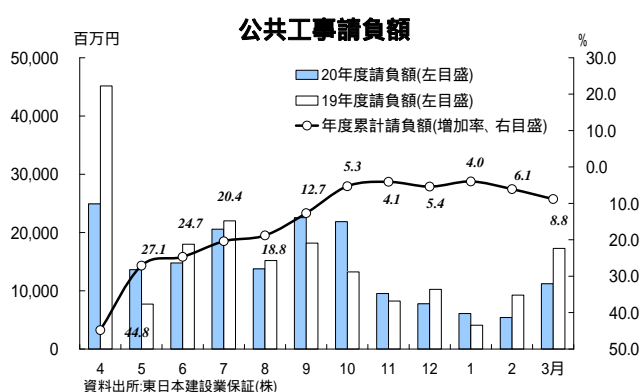


公共工事

平成 20 年度合計請負額、前年度比 8.8%減

3月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 35.2%減の 111 億 9,900 万円と 2ヶ月連続で大幅マイナスとなった。当月の請負額は、国が国土交通省などの増加により同 108.0%増の 49 億 4,200 万円と大幅に増加したものの、独立行政法人等は新幹線関連工事などの減少により同 87.3%減の 7 億 2,200 万円、ウエートの高い県は三八地域県民局などの減少により同 23.3%減の 23 億 7,600 万円、市町村は三沢市などの減少により同 41.1%減の 30 億 4,500 万円とそれぞれ大幅に落ち込んだ。

なお、平成 20 年度合計請負額は前年度比 8.8%減の 1,720 億 3,400 万円となった。内訳別では国が同 15.3%増、市町村が同 4.9%増と前年度を上回ったものの、独立行政法人等は同 59.7%減と大幅に落ち込んだほか、県も同 8.6%減となった。

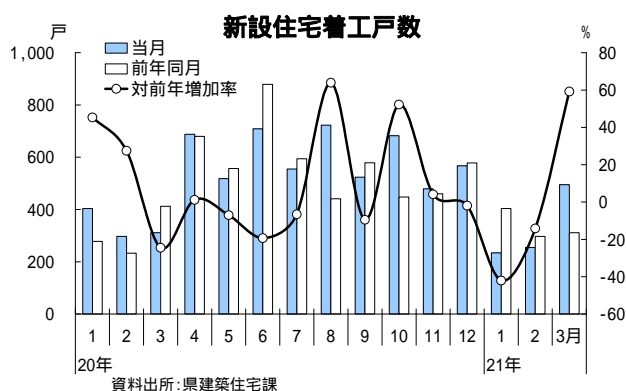


住宅着工

前年同月比 59.2%増、貸家が大幅に増加

3月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 59.2%増の 495 戸と 4ヶ月ぶりの大幅プラスとなった。利用関係別では、持家が同 7.8%減となったものの、貸家が同 177.3%増と大幅に増加したほか、分譲住宅も同 50.0%増となった。地域別にみると、青森市、十和田市、郡部で大幅に増加したほか、弘前市、八戸市、黒石市、平川市で幾分増加した。一方、三沢市、つがる市では幾分減少し、五所川原市、むつ市は横パイとなった。持家は郡部で増加したものの、青森市、十和田市で減少が目立った。貸家は青森市、八戸市、十和田市で大幅に増加した。

当月の新設住宅着工戸数は貸家の着工が大幅に増加し、全体を押し上げた。3月の貸家の着工戸数が 300 戸を超えたのは平成 13 年の 307 戸以来 8 年ぶりである。



	21年 3月	20年 3月	前年 同月比
持家	178	193	7.8
貸家	305	110	177.3
給与住宅	0	0	---
分譲住宅	12	8	50.0
総戸数	495	311	59.2

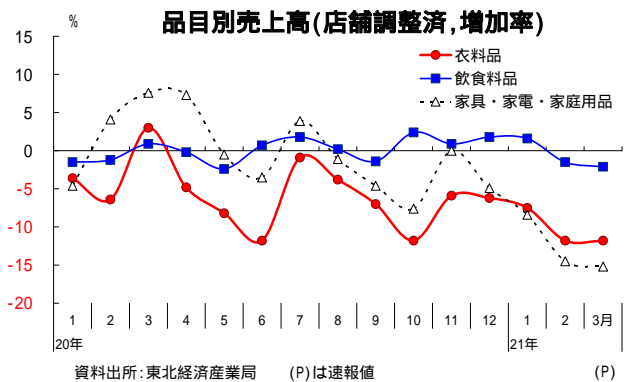
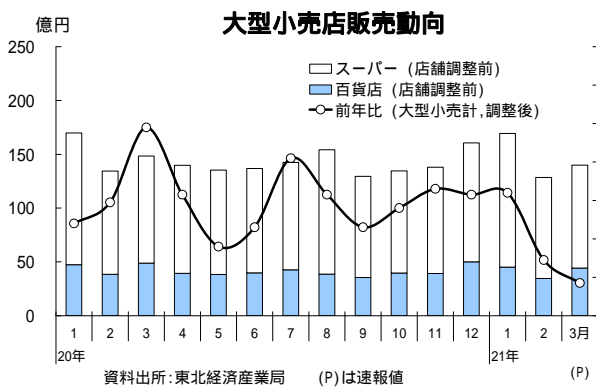
資料出所:県建築住宅課

三次産業

大型小売店販売

大型小売店販売、8ヶ月連続のマイナス

3月の県内大型小売店販売額は、前年同月比6.3%減(速報ベース、店舗調整後)と8ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同9.5%減と30ヶ月連続のマイナス、スーパーは同4.6%減と3ヶ月連続のマイナスとなった。品目別では、衣料品が同11.8%減、ウエートの高い飲食料品が同2.1%減、家具・家電・家庭用品が同15.2%減、身の回り品が同18.7%減となった。衣料品は、学生服が好調だったものの、婦人衣料などが伸び悩んだ。飲食料品は、ホワイトデー関連の菓子、酒類で動きがみられたものの、生鮮食品の動きが鈍く、前年同月を幾分下回った。家具・家電・家庭用品は、薄型テレビなど家電の一部で動きがみられたものの、家具類が大幅に落ち込むなど全体に不振であった。身の回り品は、海外ブランド品などの高額商品や宝飾品、婦人靴などが不振であった。

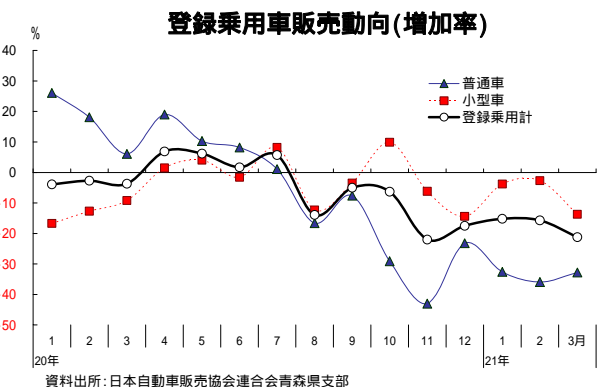
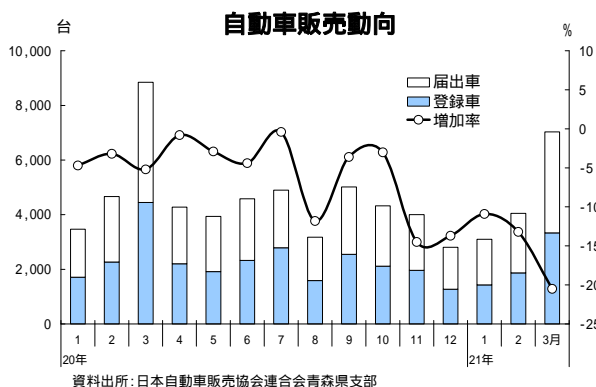


自動車販売

前年同月比20.5%減、19ヶ月連続のマイナス

3月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比20.5%減の7,033台と19ヶ月連続のマイナスとなった。内訳別にみると、登録車は、普通乗用車が同32.8%減、小型乗用車が同13.7%減、貨物車が同52.2%減となった。この結果、登録車合計では同25.1%減と9ヶ月連続のマイナスとなった。また、届出車は、乗用車が同13.7%減、貨物車が同21.5%減となり、届出車合計では同15.9%減と5ヶ月連続のマイナスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同21.2%減となり、全体では同17.7%減と8ヶ月連続のマイナスとなった。

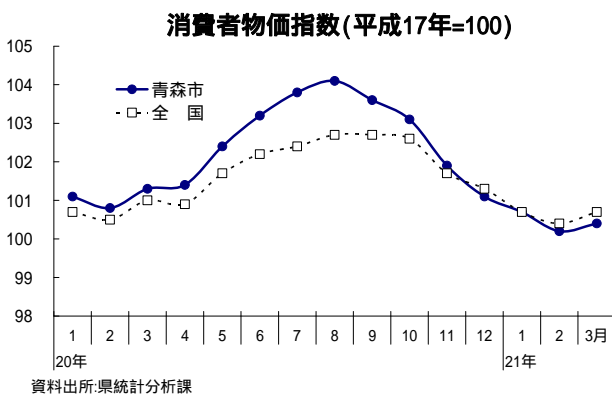
県内の自動車販売は、普通乗用車が前年を大幅に下回って推移しているほか、登録車、届出車ともに貨物車が大幅に落ち込み、低調な動きとなった。



消費者物価指数

前月比 0.2%上昇、前年同月比 0.9%下落

3月の青森市の消費者物価指数（平成17年=100,速報値）は100.4となり、前月比0.2%上昇、前年同月比0.9%下落となった。主要費目別に前月と比べると、「被服及び履物」が洋服の値上がりにより前月比6.9%、「教養娯楽」が教養娯楽用品などの値上がりにより同1.4%、「食料」が生鮮魚介・野菜、乳卵類などの値上がりにより同0.6%それぞれ上昇した。一方、「光熱・水道」は灯油の値下がりにより同2.3%下落した。前年同月との比較では、「食料」（2.9%）、「被服及び履物」（1.4%）、「光熱・水道」（-9.4%）、「交通・通信」（-5.6%）、「保健医療」（-3.3%）などの変動が大きかった。なお、「生鮮食品を除く総合指数」は100.1となり、前月比0.1%上昇、前年同月比で1.2%下落した。



費目別指数の動き(平成21年3月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	100.4	0.2	0.9
食料	103.9	0.6	2.9
住居	98.9	0.3	0.3
光熱・水道	105.6	2.3	9.4
家具・家事用品	96.2	0.3	0.9
被服及び履物	96.3	6.9	1.4
保健医療	96.7	1.5	3.3
交通・通信	97.9	0.6	5.6
教育	101.9	0.0	0.7
教養娯楽	94.8	1.4	0.7
諸雑費	101.6	0.5	0.3

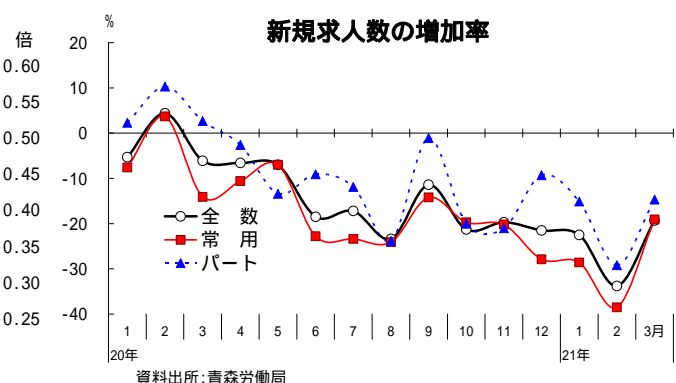
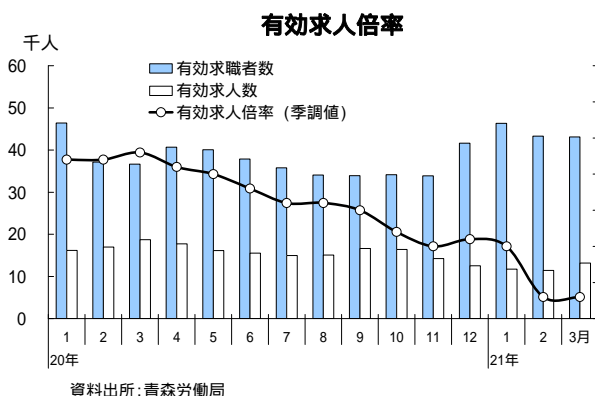
資料出所:県統計分析課

雇用動向

有効求人倍率 0.28倍、2ヶ月連続全国最下位

3月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比29.6%減の1万3,195人、有効求職者数が同17.6%増の4万3,118人となった。この結果、有効求人倍率（季節調整値）は前月比横バイの0.28倍となった。一方、新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比19.1%減、臨時季節求人数が同49.5%減、パート求人数が同14.7%減となり、全数では同19.3%減となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、情報通信業、農・林・漁業など一部で増加がみられるものの、ほとんどの業種で大幅に減少し、製造業は全体で約5割の減少となった。

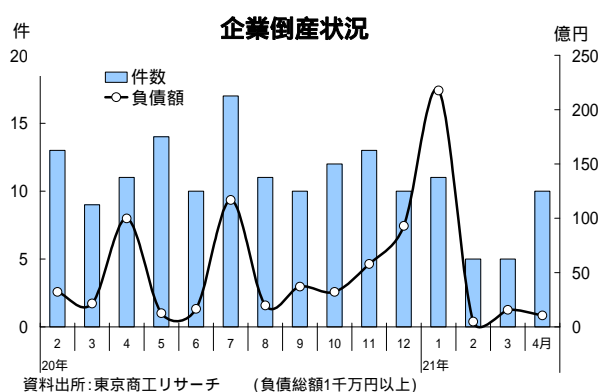
県内の雇用情勢は有効求人倍率が2ヶ月連続で全国最下位となるなど、依然として厳しい状況が続いている。



企業倒産

負債総額は小康状態

4月の県内企業倒産は、件数が前年同月比1件減の10件、負債総額は同89億3,100万円減の10億5,400万円となった。前月と比べると、件数が5件増、負債総額は同5億1,500万円減となった。倒産の内訳をみると、業種別では建設業が4件、小売業が3件、運輸業が2件、製造業が1件となった。倒産要因は販売不振が8件、過小資本が2件となった。また、地域別では八戸市が3件、北津軽郡、上北郡が各2件、十和田市、五所川原市、東津軽郡が各1件となった。当月の県内企業倒産は、件数が3ヶ月ぶりに2ケタ発生となったものの、小規模クラスの倒産が主体だったことから、負債総額は小康状態となった。年度末を終え、企業の資金繰りに一服感がうかがわれるが、県内の景気は厳しさが続いており、企業倒産については依然として予断を許さない状況にある。



業種別・原因別件数 (平成21年4月)

業種	件数	原因	件数
一次産業		放漫経営	
建設業	4	過小資本	2
製造業	1	他社倒産の余波	
卸売業		既往のシワ寄せ	
小売業	3	信用低下	
不動産業		販売不振	8
運輸・通信業	2	売掛金回収難	
サービス業ほか		在庫状況悪化	
合計	10	設備投資過大	
		その他	
		合計	10

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

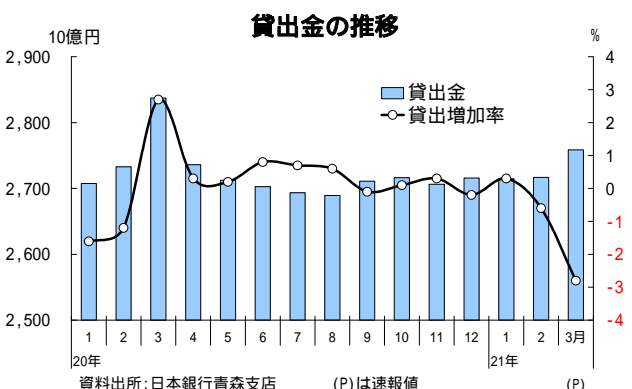
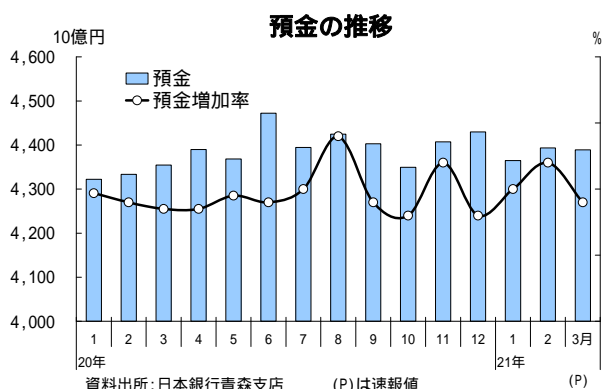
金融動向

預金 29ヶ月連続のプラス、貸出金 2ヶ月連続のマイナス

3月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比0.8%増の4兆3,889億円、貸出金は同2.8%減の2兆7,585億円となった。

預金は法人預金がマイナスに転じ、個人預金のプラス幅が縮小したものの、公金預金がプラスに転じた。この結果、全体のプラス幅は縮小したものの、29ヶ月連続のプラスとなった。一方、貸出金は、地公体向けのプラス幅が縮小し、法人向け、個人向けのマイナス幅が拡大したことから、全体のマイナス幅が拡大し、2ヶ月連続のマイナスとなった。

県内の金融動向は、預金は個人預金で底堅い動きが続いている一方、貸出金は全体に低調な動きとなっている。



青森県景気動向指数

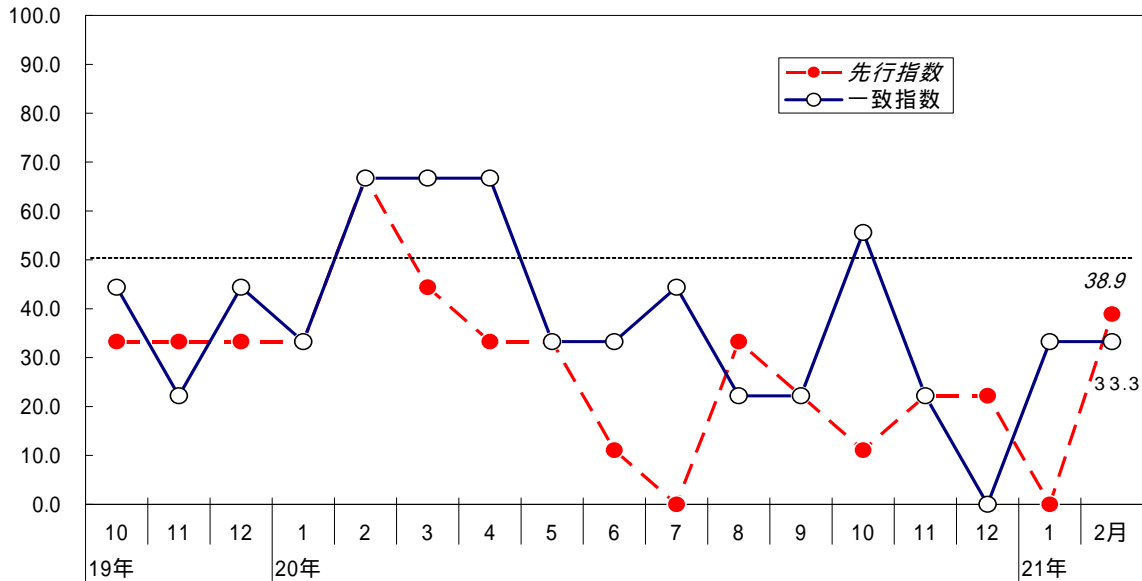
一致系列

	大型小売店 販売額 (既存店)	鉱工業生産 指数	電気機械 生産指数	大口電力 使用量	有効求人 数(全数)	総実労働 時間数 (全産業)	海上出入 貨物量 (八戸港)	東北自動車 道IC利用 台数	日銀券 月中発行高
20年	2月								
	3月								
	4月								
	5月								
	6月								
	7月								
	8月								
	9月								
	10月								
	11月								
	12月								
	21年	1月							
2月									

資料出所: 県統計分析課

(注1) 5カ月前と比べて改善した指標を、悪化した指標を で表示、- は変化なし

青森県景気動向指数の動き (先行指数・一致指数)



資料出所: 県統計分析課

景気動向指数 (DI) とは

1. あらかじめ選定された景気に敏感な経済指標のうち、5カ月前と比べて上昇あるいは拡張を示している指標の割合を表す指数 (Diffusion Index)。DI には次の3指数がある。

- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状判断に利用
- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の予測に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから景気の確認に利用

一致指数が3カ月連続して50%を上(下)回る場合、景気は転換点を迎えたといみなされる。

2. DI の算出は、 $[(\text{指標数} \times 1) + (- \text{指標数} \times 0.5)] \div \text{全指標数} \times 100$ で算出する。

国内景気

概況

国内景気は急速な悪化が続いており、厳しい状況にある。個人消費は緩やかに減少している。住宅建設は減少している。設備投資は減少している。企業収益及び企業の業況判断は極めて大幅に悪化している。公共投資は総じて低調に推移している。輸出は大幅に減少している。生産は極めて大幅に減少している。雇用情勢は急速に悪化しつつある。

大型小売店販売（既存店ベース）

- 12ヶ月連続のマイナス -

3月の大型小売店販売は前年同月比8.1%減と12ヶ月連続のマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同12.9%減、スーパーは同4.9%減となった。商品別にみると、衣料品が同15.8%減、飲食料品が同2.5%減、その他商品が同9.2%減となった。

住宅建設

- 4ヶ月連続のマイナス -

3月の新設住宅着工戸数は前年同月比20.7%減の6万6,628戸と4ヶ月連続のマイナスとなった。利用関係別にみると、持家が同13.1%減と6ヶ月連続のマイナスとなったほか、貸家が同11.2%減、分譲住宅が同42.1%減とそれぞれ4ヶ月連続のマイナスとなった。

企業倒産

- 負債総額、前年同月比128.0%増 -

3月の企業倒産は件数が前年同月比14.1%増の1,537件、負債総額は同128.0%増の1兆782億円と大幅に増加した。倒産件数は10ヶ月連続で前年を上回った。また、負債100億円以上の大型倒産が14件(前年同月6件)発生し、負債総額は3月としては戦後8番目の規模となった。

為替動向

- 4月末終値97円66銭 -

4月の東京外為市場は前月末から続落、98円台でスタート。上旬は世界的な株高などを背景に円売りが進み、一時101円台まで円安が進んだ。中旬は米国景気の先行き不透明感などから円が買われ99円を挟んだ動きとなった。下旬は米自動車大手の先行き不安、豚インフルエンザの感染拡大などによる米景気への影響懸念などからドル売りが進み、一時95円半ばまで円高が進んだ。月末終値は97円66銭。

鉱工業生産指数

- 6ヶ月ぶりに上昇 -

3月の鉱工業生産指数は前月比1.6%上昇の70.6(季節調整値)と6ヶ月ぶりに上昇。上昇に寄与したのは、電子部品・デバイス工業、一般機械工業等であった。品目別にみると、蒸気タービン部品、E型半導体集積回路等であった。なお、生産予測調査によると、4月は化学工業、電子部品・デバイス工業等の上昇により当月比4.3%の上昇を予測。

新車販売（除く軽自動車）

9ヶ月連続のマイナス

4月の国内新車販売は前年同月比28.6%減の16万6,365台と9ヶ月連続のマイナスとなった。内訳別では、乗用車が同27.2%減、貨物車が同38.2%減となった。乗用車は普通乗用車が同36.4%減、小型乗用車が同19.6%減と、それぞれ9ヶ月連続のマイナスとなった。

完全失業率

前月比0.4ポイント上昇の4.8%

3月の完全失業率は前月比0.4ポイント上昇の4.8%(季節調整値)となった。完全失業者数は前年同月比67万人増加の335万人。求職理由別にみると、自己都合による離職者が同8万人増の103万人、リストラ等勤め先都合による離職者が同50万人増の106万人などとなった。

消費者物価指数

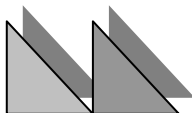
- 前月比0.3%上昇、前年同月比0.3%下落 -

3月の全国消費者物価指数(2005年=100)は100.7となり前月比0.3%上昇、前年同月比0.3%下落となった。前月に比べ被服及び履物、食料、教養娯楽、交通・通信などが上昇した。なお、生鮮食品を除く総合指数は100.7となり前月比0.3%上昇、前年同月比0.1%下落となった。

国際収支

- 経常収支額、黒字幅55.6%減 -

2月の経常収支額は1兆1,169億円となり、前月の赤字から再び黒字に転じた。黒字幅は前年同月比55.6%減。貿易収支、所得収支の黒字幅が縮小し、サービス収支の赤字幅が拡大したことから全体の黒字幅は大幅に縮小した。内訳は、貿易収支が2,021億円、所得収支が11,045億円のそれぞれ黒字、一方、サービス収支は1,491億円、経常移転収支は407億円のそれぞれ赤字となった。



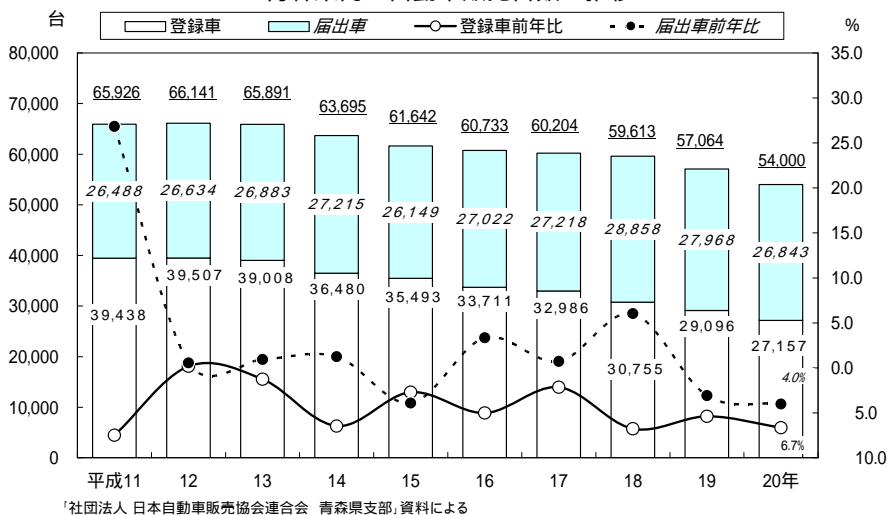
今月の統計

平成 20 年の青森県内自動車販売

日 本自動車販売協会連合会青森県支部の資料によると、平成 20 年の青森県内の自動車販売台数は、前年比 5.4%減の 5 万 4,000 台となり、8 年連続で前年を下回った。これを内訳別にみると、登録車が同 6.7%減の 2 万 7,157 台(シェア 50.3%)、届出車(軽自動車)が同 4.0%減の 2 万 6,843 台(シェア 49.7%)となった。登録車は平成 13

年以降 8 年連続で前年を下回っている。一方、届出車は平成 10 年の規格改定以降、堅調な動きが続いていたが、平成 19 年から 2 年連続で前年を下回っている。

青森県内の自動車販売台数の推移



『社団法人 日本自動車販売協会連合会 青森県支部, 資料による』

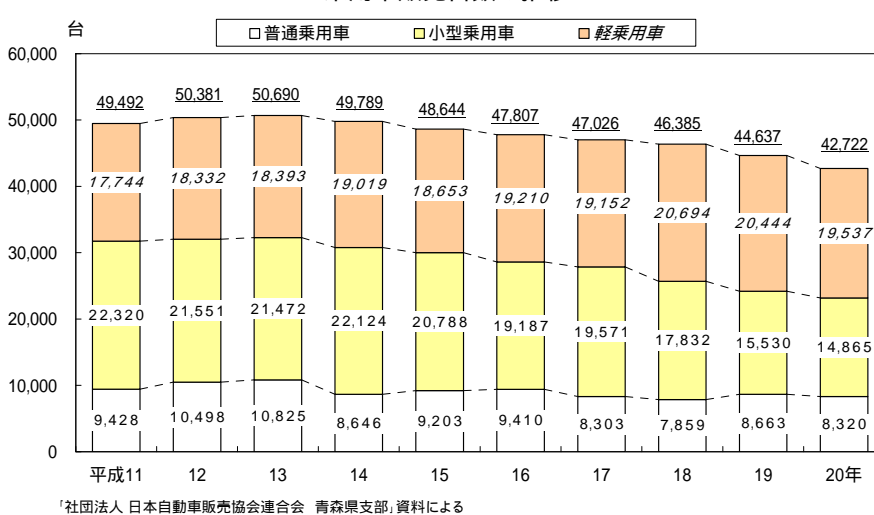
乗 用車は耐久消費財の代表的なものであり、その販売動向は個人消費の動向を探る重要な指標の一つとなっている。

平成 20 年の乗用車販売台数は、前年比 4.3%減の 4 万 2,722 台となり、7 年連続で減少した。車種別にみると、普通乗用車は 7 月まで好調に推移したものの、年後半に販

売台数が落ち込み、前年を下回った。小型乗用車は 3 年連続で減少し、1 万 5 千台を割り込んだ。届出乗用車(軽乗用車)は 2 年連続で減少し、2 万台を割り込んだ。

平成 20 年の乗用車販売は県内景気の低迷、消費全体の落ち込みなどの影響から各車種とも前年実績を下回っており、特に小型乗用車の不振が目立っている。

乗用車販売台数の推移



『社団法人 日本自動車販売協会連合会 青森県支部, 資料による』

(注) 普通乗用車・・・排気量 2000cc 超の乗用車

小型乗用車・・・排気量 660cc 超 2000cc 以下の乗用車

届出乗用車・・・排気量 660cc 以下の軽乗用車

県内経済

3日 中心市街地活性化支援事業、本県から2事業が採択

経済産業省は平成21年度の戦略的中心市街地商業等活性化支援事業について30事業を採択した。青森県からは「AOMORI 春フェスティバル事業」(青森市)と「中土手町商店街環境整備事業」(弘前市)の2事業が採択された。

7日 2008年度の本県の企業誘致16件

県のまとめによると、2008年度の本県の企業誘致件数は前年度と同じ16件で、誘致により創出された雇用人数は526人であった。

19日 青森市長に鹿内氏

任期満了に伴う青森市長選で、前県議会議員で新人の鹿内博氏が初当選を果たした。

20日 東奥信用金庫が合併から離脱

東奥信用金庫(弘前市、山口耕造理事長)は臨時総代会を開き、2009年11月を目処とした「県内4信金合併」の枠組みから離脱することを決定した。

22日 十和田湖地域が「観光圏」に認定

観光庁は、本県の十和田市など県内8市町を区域とする「新たな青森の旅・十和田湖広域観光圏」など全国14地域を「観光圏」として認定した。5年間の認定期間中、国から観光圏整備事業について補助金交付など総合的な支援を受けることができる。

23日 青森県の介護保険料、月額4,999円

厚生労働省のまとめによると、65歳以上の高齢者が支払う2009-11年度の青森県の介護保険料は、平均で月額4,999円となり全国で最も高くなった。介護保険料は市町村が3年ごとに改定する仕組みとなっており、本県は2006-08年度比4.6%増となった。

国内経済

2日 1月の生活保護受給者数、161万8,543人

厚生労働省の発表によると、全国の生活保護受給者は今年1月時点で前年同月比約6万2千人増の161万8,543人となった。

9日 機械受注、5ヶ月ぶりに増加

内閣府が発表した2月の機械受注統計(季節調整値)によると、民間設備投資の先行指標となる「船舶・電力を除く民需」の受注額は、前月比1.4%増の7,281億円と5ヶ月ぶりに増加した。

10日 追加経済対策、事業規模56兆8千億円

政府・与党は急激に悪化する経済情勢を下支えするため、雇用、環境、金融などの追加経済対策を決定した。財政支出が15兆4千億円、事業規模は56兆8千億円で、いずれも過去最大となる。

17日 月例経済報告、景気判断を2ヶ月連続で据え置き

政府は4月の月例経済報告で、国内景気の基調判断を「急速な悪化が続いており、厳しい状況にある」とし、2ヶ月連続で据え置いた。

22日 2008年度の貿易収支、28年ぶりの赤字

財務省が発表した2008年度の貿易統計速報(通関ベース)によると、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は7,253億円の赤字に転落した。赤字は1980年度以来28年ぶり。

27日 2009年度のGDP成長率見通し、マイナス3.3%に下方修正

政府は2009年度の国内総生産(GDP)成長率の見通しをこれまでの実質ゼロ%からマイナス3.3%に下方修正した。

全国の主要経済指標

年次及び月	日証券 平均発行高 (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2005年 = 100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2003(H15)	701,103	511,675	413,853	1.799	16,255	115,518	94.1	1,160,083	134,773	217,593
2004(H16)	715,020	518,681	404,000	1.732	13,679	78,177	98.7	1,189,049	114,803	214,672
2005(H17)	736,324	526,410	408,548	1.623	12,998	67,035	100.0	1,236,175	117,818	213,284
2006(H18)	744,033	528,667	415,577	1.766	13,245	55,006	104.3	1,290,391	95,710	211,450
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	107.4	1,060,741	92,265	211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	103.8	1,093,485	95,815	209,544
2008(H20) 1	776,902	544,303	415,481	1.930	1,174	5,812	109.6	86,971	5,880	18,799
2	756,569	545,761	416,205	1.922	1,194	3,652	110.1	82,962	8,054	15,539
3	759,282	552,339	419,419	1.926	1,347	4,730	108.7	83,991	13,464	17,703
4	757,564	553,271	416,295	1.916	1,215	7,181	108.0	97,930	3,224	16,812
5	759,585	552,339	417,050	1.916	1,290	5,498	109.3	90,804	3,892	16,951
6	751,914	557,422	418,996	1.913	1,324	4,924	107.1	100,929	8,439	16,908
7	757,150	552,087	418,601	1.910	1,372	6,653	106.8	97,212	8,851	18,661
8	756,144	550,821	418,867	1.908	1,254	8,680	103.5	96,905	8,074	16,531
9	751,178	552,083	420,719	1.913	1,408	53,625	103.6	97,184	10,040	15,591
10	756,037	548,134	423,809	1.906	1,429	10,077	100.1	92,123	10,818	16,668
11	759,854	554,497	428,411	1.889	1,277	5,761	93.1	84,277	6,621	17,805
12	784,262	557,055	436,848	1.865	1,362	6,327	85.3	82,197	8,457	21,577
2009(H21) 1	779,825	554,956	433,735	1.824	1,360	8,390	76.7	70,688	5,432	18,069
2	761,880	559,071	434,557	1.795	1,318	12,292	69.5	62,303	7,658	14,518
3	765,414				1,537	10,782	P 70.6	66,628		P 16,517
前月比 %	0.5	0.7	0.2	-0.029% ｲﾝﾄ	16.6	-12.3	1.6	6.9	41.0	-2.4
前年同月比%	0.8	2.4	4.4	-0.127% ｲﾝﾄ	14.1	128.0	-34.2	-20.7	-4.9	-8.1
資料出所	日本銀行				東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省	経済産業省	

企業倒産は負債額1千万円以上

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2005年 = 100	消費者 物価指数 2005年 = 100	景気動向 指数 (一致) 2005年 = 100	完全 失業率 (季調済) (%)	東証1部 平均株価 (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年未) (100万ドル)	東京 外為相場 (月中平均) (円 / US \$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年 = 100)
2003(H15)	4,460	97.1	100.3	-	5.3	9,303.80	157,668	673,529	115.94	111.260
2004(H16)	4,768	98.4	100.3	-	4.7	11,166.37	186,184	844,543	108.17	126.864
2005(H17)	4,748	100.0	100.0	-	4.4	12,411.93	182,591	846,897	110.21	138.398
2006(H18)	4,642	102.2	100.3	-	4.1	16,117.45	198,488	895,320	116.31	158.921
2007(H19)	4,400	104.0	100.3	-	3.8	16,990.46	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	108.8	101.7	-	4.0	12,142.80	162,802	1,030,647	103.39	147.854
2008(H20) 1	320	105.7	100.7	104.0	3.8	13,731.31	11,637	996,044	107.66	172.938
2	429	106.2	100.5	104.6	3.9	13,547.84	25,142	1,007,981	107.16	180.651
3	614	106.7	101.0	103.4	3.8	12,602.93	29,024	1,015,587	100.79	182.145
4	306	107.6	100.9	102.5	4.0	13,357.70	13,859	1,003,836	102.49	187.634
5	296	108.9	101.7	103.4	4.0	13,995.33	19,804	996,975	104.14	193.277
6	364	109.9	102.2	101.9	4.1	14,084.60	4,716	1,001,549	106.90	198.164
7	383	112.2	102.4	101.9	4.0	13,168.91	15,693	1,004,658	106.81	201.914
8	255	112.3	102.7	99.1	4.2	12,989.35	10,610	996,741	109.28	199.048
9	397	111.6	102.7	98.4	4.0	12,123.53	15,646	995,890	106.75	191.535
10	315	110.0	102.6	96.1	3.7	9,117.03	9,796	977,723	100.33	173.662
11	296	107.9	101.7	93.2	3.9	8,531.45	6,236	1,002,861	96.81	158.652
12	253	106.6	101.3	90.6	4.4	8,463.62	1,629	1,030,647	91.28	147.854
2009(H21) 1	256	105.4	100.7	88.0	4.1	8,331.49	P -1,728	1,010,958	90.41	143.107
2	325	104.5	100.4	85.2	4.4	7,694.78	P 11,169	1,009,354	92.50	139.699
3	463	P 104.3	100.7	P 84.9	4.8	7,764.58		1,018,549		139.827
前月比 %	42.5	-0.2	0.3	-	0.4% ｲﾝﾄ	0.9	-	0.9	-100.0	0.1
前年同月比%	-24.6	-2.2	-0.3	-	1.0% ｲﾝﾄ	-38.4	-55.6	0.3	-100.0	-23.2
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行	日経新聞社	

青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態 (人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2003 (H15)	1,467,047	-5,295	-431	43,499	30,483	129	29,559	904,363	1,764
2004 (H16)	1,459,478	-6,907	-1,056	43,568	29,378	118	54,410	834,009	1,900
2005 (H17)	1,449,732	-7,491	-283	42,940	28,748	120	25,451	790,172	1,822
2006 (H18)	1,434,936	-9,224	-372	43,241	27,627	119	34,015	784,878	1,838
2007 (H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	758,935	1,260
2008 (H20)	1,406,738	-9,993				135	54,700		
2008 (H20) 2	1,405,587	-613	-38	43,334	27,328	13	3,221	52,149	139
3	1,404,462	-5,849	-85	43,546	28,374	9	2,160	74,548	156
4	1,398,130	-136	-196	43,897	27,361	11	9,985	64,301	466
5	1,397,463	-532	128	43,682	27,123	14	1,264	50,710	145
6	1,396,659	-349	-133	44,723	27,028	10	1,660	60,752	442
7	1,395,953	30	130	43,946	26,934	17	11,686	48,298	245
8	1,395,716	-237	-2	44,244	26,893	11	1,986	42,223	64
9	1,395,208	-140	-159	44,029	27,110	10	3,706	62,752	142
10	1,394,806	0	-403	43,496	27,163	12	3,220	51,521	431
11	1,394,366	-129	151	44,072	27,064	13	5,798	37,086	420
12	1,393,670	-158	-449	44,298	27,158	10	9,294	54,786	342
2009 (H21) 1	1,392,976	-353	455	43,647	27,146	11	21,768	42,907	732
2	1,392,029	-308	-78	43,935	27,169	5	490	40,929	399
3	1,391,164	-5,053	-45	P 43,889	P 27,585	5	1,569	57,399	576
4	1,385,598					10	1,054		
前月比 %	-0.4	-	-	-0.1	1.5	100.0	-32.8	40.2	44.4
前年同月比%	-0.9	-	-	0.8	-2.8	-9.1	-89.4	-23.0	269.2
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数
 ※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※日銀券の年次計数は年度累計
 ※企業倒産は負債額1千万円以上

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2005年=100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2003 (H15)	92.2	9,625	5,131	3,625	1,074	225,920	104,210	0.50	0.31
2004 (H16)	96.8	8,971	4,788	3,635	964	231,700	86,268	0.55	0.35
2005 (H17)	100.0	7,558	4,242	2,682	841	195,425	74,883	0.64	0.42
2006 (H18)	104.2	7,574	4,316	2,760	840	187,569	68,377	0.65	0.44
2007 (H19)	110.2	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.70	0.48
2008 (H20)	107.0	6,457	3,305	2,630	672				
2008 (H20) 2	119.0	297	93	192	24	9,265	1,157	0.68	0.47
3	111.0	311	193	110	36	17,289	3,096	0.73	0.48
4	109.2	688	409	213	79	24,909	10,913	0.65	0.46
5	110.6	518	372	130	65	13,630	4,082	0.65	0.45
6	111.5	709	342	338	68	14,788	6,242	0.61	0.43
7	108.4	555	352	185	67	20,569	4,456	0.59	0.41
8	109.1	723	348	268	73	13,741	4,714	0.60	0.41
9	106.9	524	339	109	63	22,548	11,270	0.58	0.40
10	102.0	682	327	278	69	21,855	6,318	0.54	0.37
11	96.5	479	269	186	48	9,536	3,401	0.52	0.35
12	83.8	567	156	342	48	7,764	2,610	0.59	0.36
2009 (H21) 1	86.3	234	102	109	21	6,084	2,631	0.49	0.35
2	P 81.8	255	92	143	25	5,405	1,363	0.42	0.28
3		495	178	305	40	11,199	2,376	0.51	0.28
前月比 %	-5.2	94.1	93.5	113.3	60.0	107.2	74.3	0.09 ^ホ イト	0.00 ^ホ イト
前年同月比%	-33.8	59.2	-7.8	177.3	11.1	-35.2	-23.3	-0.22 ^ホ イト	-0.20 ^ホ イト
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による
 ※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※求人倍率の年次の欄は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2005年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断DI)	あおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2003 (H15)	192,433	35,493	48,644	100.1	293,589	196,437	29,584	-	-
2004 (H16)	184,957	33,711	47,807	100.0	308,706	178,484	25,464	-	-
2005 (H17)	180,137	32,986	47,026	100.0	286,255	168,420	23,479	-	-
2006 (H18)	175,587	30,755	46,385	100.2	299,079	158,530	21,959	-	-
2007 (H19)	172,288	29,096	44,637	99.9	286,305	141,530	18,495	-	-
2008 (H20)	172,323	27,157	42,722	99.9	291,752	-	-	-	-
2008 (H20) 2	13,438	2,266	3,823	100.8	279,987	12,504	1,698	-	-
3	14,837	4,451	6,865	101.3	304,186	9,784	1,194	-	-
4	13,976	2,202	3,489	101.4	277,750	10,387	1,351	29.5	-
5	13,471	1,915	3,182	102.4	308,394	11,555	1,502	-	-40.1
6	13,677	2,327	3,648	103.2	273,553	11,004	1,278	-	-
7	14,241	2,791	4,045	103.8	273,643	10,726	1,314	19.4	-
8	15,420	1,592	2,522	104.1	255,291	10,617	1,202	-	-32.7
9	12,960	2,551	3,873	103.6	349,395	10,073	1,154	-	-
10	13,460	2,115	3,376	103.1	247,865	9,617	1,158	15.9	-
11	13,799	1,966	2,993	101.9	281,530	9,105	976	-	-50.0
12	16,056	1,270	2,094	101.1	361,710	10,864	1,249	-	-
2009 (H21) 1	16,940	1,428	2,537	100.7	286,144	19,073	3,016	13.0	-
2	12,851	1,871	3,298	100.2	343,292	16,099	2,056	-	-41.3
3	13,988	3,333	5,647	100.4	300,598	14,024	1,670	-	-
前月(期)比%	-	78.1	71.2	0.2	-12.4	-12.9	-18.8	-2.9ポイント	8.7ポイント
前年同月(期)比%	-6.3	-25.1	-17.7	-0.9	-1.2	43.3	39.9	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	青森労働局	県統計分析課	青森銀行	

※大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (トン)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2003 (H15)	282,412	268	158	148,703	24,973	8,219	45,365	62,824	100,993
2004 (H16)	267,724	312	196	142,787	28,689	11,667	45,253	65,236	106,412
2005 (H17)	270,487	265	166	149,899	24,335	11,876	44,996	70,766	119,970
2006 (H18)	294,887	288	173	166,437	24,155	12,033	79,281	101,020	143,467
2007 (H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008 (H20)	-	-	-	129,647	23,303	14,006	38,625	144,341	166,974
2008 (H20) 2	37,727	255	148	8,039	2,092	397	5,164	13,048	12,850
3	36,732	261	154	3,840	926	573	1,454	18,111	12,900
4	32,035	275	192	2,661	730	1,403	4,063	10,465	14,633
5	24,664	306	-	4,528	876	1,616	2,046	11,759	14,901
6	17,490	325	-	3,863	913	1,035	4,341	12,530	15,310
7	13,500	348	-	5,350	1,344	2,214	1,794	12,287	20,597
8	5,228	351	-	19,928	2,878	1,334	3,495	7,062	15,231
9	20,343	199	107	30,041	3,960	1,282	3,033	11,522	10,325
10	27,203	220	158	20,246	3,269	1,639	1,890	16,085	14,883
11	23,482	209	145	15,564	2,572	927	2,609	6,597	10,919
12	26,710	236	103	8,017	1,820	802	1,404	13,475	10,873
2009 (H21) 1	35,541	209	88	6,319	1,472	802	1,394	10,452	9,325
2	37,549	207	99	4,598	1,090	833	1,152	8,101	7,201
3	41,785	220	108	4,911	1,493	718	819	8,519	7,368
前月比%	11.3	6.3	9.1	6.8	37.0	-13.8	-28.9	5.2	2.3
前年同月比%	13.8	-15.7	-29.9	27.9	61.2	25.3	-43.7	-53.0	-42.9
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

※りんご年次欄はりんご年度の計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (度C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2008(H20)	10.7	1,085.0	1,642.4	16,095
2008(H20) 2	-1.0	83.5	68.2	1,275
3	4.6	17.0	142.2	1,285
4	9.3	21.0	181.5	1,167
5	13.4	50.5	200.5	1,165
6	16.8	95.0	194.8	1,333
7	21.9	125.5	137.4	1,383
8	21.9	164.5	160.3	1,778
9	19.6	38.5	195.6	1,304
10	14.2	74.5	163.1	1,299
11	6.9	117.5	98.5	1,252
12	2.7	182.0	64.9	1,325
2009(H21) 1	-0.1	127.5	65.6	1,716
2	0.2	135.5	67.1	1,410
3	2.6	77.0	124.8	1,619
前月比%	2.4度C	-58.5ml	57.7h	14.8
前年同月比%	-2.0度C	60.0ml	-17.4h	26.0
資料出所	青森地方気象台			外務省

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2006(H18)			
1~3月	-20.8	-29.7	-15.9
4~6月	-30.0	-33.9	-4.9
7~9月	-30.6	-17.0	-24.6
10~12月	-22.0	-20.0	-5.6
2007(H19)			
1~3月	-20.3	-10.5	-3.2
4~6月	-25.4	-9.3	-25.5
7~9月	-21.9	2.0	-20.7
10~12月	-25.4	-33.3	-25.9
2008(H20)			
1~3月	-29.1	-39.6	-30.5
4~6月	-35.0	-52.1	-35.2
7~9月	-44.6	-40.4	-14.3
10~12月	-50.9	-72.7	-29.4
2009(H21)			
1~3月	-32.1	-54.2	-39.1
4~6月	-49.1	-45.7	-54.3
資料出所	青森銀行BSI('09.4~6月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2008(H20) 2	305,745	185,785	241,470	561	268	454	87	49	96
3	305,582	185,592	241,323	1,306	563	854	72	31	108
4	304,399	184,176	240,212	546	217	483	204	78	226
5	304,657	184,675	240,178	481	190	443	129	77	102
6	304,412	184,630	239,944	605	255	509	249	62	213
7	304,273	184,574	239,802	791	309	620	91	64	119
8	304,330	184,501	239,849	408	153	363	166	109	209
9	304,110	184,393	239,785	707	267	541	111	103	104
10	303,962	184,303	239,795	571	241	447	142	226	99
11	304,016	184,274	239,796	487	184	440	101	75	114
12	303,834	184,226	239,792	356	129	218	143	123	95
2008(H21) 1	303,662	184,145	239,813	380	182	274	43	40	72
2	303,523	184,081	239,660	511	189	373	44	67	58
3	303,277	183,931	239,608	940	429	593	206	33	123
4	302,141	182,719	238,742						
前月比%	-0.4	-0.7	-0.4	84.0	127.0	59.0	368.2	-50.7	112.1
前年同月比%	-0.7	-0.8	-0.6	-28.0	-23.8	-30.6	186.1	6.5	13.9
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森市	弘前市	八戸市	件数	負債額(万円)	件数	負債額(万円)	件数	負債額(万円)
2008(H20) 2	0.32	0.46	0.46	3	121,000	0	0	1	38,210
3	0.35	0.52	0.49	2	34,000	1	60,000	2	31,000
4	0.31	0.46	0.42	5	313,500	0	0	0	0
5	0.28	0.41	0.44	5	42,000	0	0	1	3,500
6	0.30	0.39	0.46	3	100,000	2	11,000	0	0
7	0.28	0.40	0.48	4	247,800	2	293,000	4	309,000
8	0.29	0.44	0.51	5	23,000	1	15,400	1	110,000
9	0.32	0.51	0.58	3	248,400	2	10,000	0	0
10	0.28	0.49	0.56	4	261,000	0	0	0	0
11	0.25	0.39	0.48	4	401,000	2	23,000	0	0
12	0.19	0.25	0.36	4	757,400	0	0	1	11,000
2008(H21) 1	0.16	0.26	0.27	4	81,500	0	0	2	1,979,600
2	0.19	0.19	0.27	2	17,000	1	3,000	0	0
3	0.22	0.23	0.28	0	0	2	130,000	0	0
4				0	0	0	0	3	17,400
前月比%	ホ ⁰ イント	ホ ^{-0.04} イント	ホ ^{0.01} イント	—	—	-100.0	-100.0	—	—
前年同月比%	ホ ^{-0.13} イント	ホ ^{-0.29} イント	ホ ^{-0.21} イント	-100.0	-100.0	—	—	—	—
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

※有効求人倍率は原数値による